

Contents

- 1 学部・教員による活動紹介
- 2 学友会地域活動報告
- 3 明星大学学園祭『星友祭』
地域交流センターブース
レポート
- 4 お知らせ

1 学部・教員による活動紹介

◆『COPERU Project』

COPERU Project は、プログラミングに関する学びを通して、創造的な活動の場を提供することを目的としたプロジェクトです。未来の予測が難しい時代だからこそ、「コンピュータではなく、人間だからできること」にフォーカスし、「個性を生かしたアイデア」を創発できる環境を、「教育の明星大学」だからこそ実現可能な形で、構築することを目指しています。

各学部の特徴を際立たせる学部横断型協働プロジェクト

COPERU (Collaborative Programming Education Research Unit: プログラミング教育連携研究ユニット) は、COPERU Project を実施・運営する組織の名称で、明星大学が代表団体である協議会の名称でもあります。本学情報学部の山中脩也准教授と教育学部の北島茂樹准教授が発起人となり、学内の先生方や関係部署、教育委員会等の学内外組織と連携・協力しながら推進してきました。

COPERU Project の特徴として、様々な学部の学生が協働している点が挙げられます。これまでに、情報学部・教育学部・理工学部・人文学部・経営学部などの学生や大学院生が自主的に関わり、個々の背景の違いを尊重しながら、様々な取り組みを行ってきました。学外からも他大学の学生や社会人の方が加わり、多様な価値観の中で自分自身のアイデンティティを再構成しつつ、背景が異なることを生かした積極的な協働を行っています。

協議会 COPERU に参加している団体 (2019年2月1日現在)

- ・学校法人 明星学苑 明星大学 (代表団体)
- ・早稲田大学 学力向上研究所
- ・日野市 産業スポーツ部産業振興課
- ・帝京平成大学 情報教育研究会
- ・日野市 子ども部子育て課
- ・株式会社アールティ (<http://rt-net.jp>)
- ・日野市教育委員会
- ・株式会社びぎねっと (<https://begi.net>)
- ・瑞穂町教育委員会

以下では、COPERU で 2018 年度に実施したいくつかの活動を紹介します。

学生・社会人向け 『「プログラミングの学び」を考えるゼミ』

『「プログラミングの学び」を考えるゼミ』は、「プログラミングの学び」に関して、その学びのデザインを考えるために多様な人々が集まるゼミです。2018 年度は原則毎週土曜日にゼミを行ない、大学生と社会人を合わせ、総勢 20 名を超えるゼミ生が所属しています。2020 年に小学校で一斉に必修化される「プログラミング教育」を主な題材として、「プログラミングとは何か」や「学ぶとはどういうことか」などの根源的な内容から、それらの議論を踏まえて、「面白さをどのように伝えるか」や「どのような実践を行なうと効果的か」などについて、考え、議論し、情報共有しています。

また、ゼミでの内容の実践として、日野市内の小学校や児童館などで、ゼミ生である学生や社会人が中心となったプログラミング講座を実施したり、大学コンソーシアム八王子の『夏休み子どもいちょう塾』に講座を提供しています。また、プログラミング教育先進地域である相模原市の教育委員会と協働し、プログラミング教育に関する題材の研究を小学校の先生と一緒に進めています。





小大連携プロジェクト「明星小学校放課後プログラミング講座」の実施

2018年10月から明星小学校と協働して小学校5・6年生の有志を対象とした「明星小学校放課後プログラミング講座」（全10回）を実施しています。事前の想定参加数の約2倍の参加申し込みがあり、今回は34名の児童が楽しみながら学んでいます。



明星大学×日野市「プログラミングパーク“CABA”」

日野市との連携協力のもと、2018年8月1日～21日まで多摩平の森産業連携センター「PlanT」でプログラミングパーク「CABA」を開催しました。1回90分から120分に時間を設定した中でのイベントとして実施し、小学生・中学生のみなさんに「プログラミング」に触れる機会を提供しました。「コンピュータ嫌いにならないためのディスカバー体験のすすめ」として、ブラウザ上で使えるプログラミング環境を使用し、プログラミングを冒険に例えたプログラミング体験の機会を実施しました。



「コンピュータと学びのフォーラム」の実施と成果の共有

1年に2回のペースで、明星大学にて「コンピュータと学びのフォーラム」を実施しています（オープンソースカンファレンスと同じタイミングで実施。同カンファレンスへの参加者は毎回1000人を超えています）。同フォーラムでは、日本各地で実施している、コンピュータと学びに関する取り組みや理論的研究などについて、実施者に講演を依頼し、様々な議論や情報共有の場を提供しています。

◆経営学部「自立と体験2」 学生による商品開発

経営学部1年生全員が受講する体験授業「自立と体験2」にて、日野市の老舗和洋菓子店『株式会社紀の國屋』と、お菓子の協同開発を行いました。この授業は、毎年企業とのコラボレーションを行っており、実社会の経営を体験できることが大きな特徴です。今年は、商品が実際に販売される初の試みとなりました。授業では、チーム毎にネーミング・パッケージデザイン・価格設定等を立案して、紀の國屋にプレゼンテーションを実施。実在する企業の「新商品の開発」を通じ、ビジネスの基本実務の流れを体感することができました。

今回、商品化されたのは以下の4商品。

- ・日野産のトマトを使ったグルテンフリーのマドレーヌ「トマレーヌ」
- ・日野産のイチゴを使ったプリン「ジャムパパの苺スイーツ」
- ・多摩地域最古と言われる TOYODA BEER を使用したクッキー「金の満月」
- ・日野産の卵を使用した和菓子「侍 egg」

販売店舗につきましては、紀の國屋 WEB サイトでご確認ください。また、日野市のふるさと納税返礼品にも選ばれました。ふるさと納税サイト「さとふる」にて受け付けています。ぜひご覧ください。



2 学友会地域活動報告

学友会では、多方面でボランティアや地域活動を行っています。その中から幾つかの事例を紹介します。

◆「第 52 回日野市産業まつり」に学友会 3 団体が出演(11/10,11)

まつり内で開催の「ダンスフェスタ 2018 Street×Dreams」に、ダンス同好会「DASH!」、ダブルダッチ同好会「Shakin Key!!」、チアリーディングサークル「Miracle★Stars」が参加しました。両日とも小春日和に恵まれ、屋外ステージにて熱気あふれるパフォーマンスを披露しました。



◆たかはたもみじ灯路(11/22,23)

高幡不動尊参道周辺の商店街を中心に、約 3000 個のやわらかな灯籠の灯が点る「たかはたもみじ灯路」イベントに、学友会の 3 団体が協力しました。明星大学防犯ボランティア隊「MCAT」は、会場運営スタッフとして参加。また、イベント内の『MOMIJI 音楽灯路ミニコンサート』に、アカペラサークル「カラフル」と、「Freedom music」が出演、日野の焼きカレーパンや TOYODA ビールを片手に、多くの方にステージを聴いていただきました。



◆日野市秋の一斉清掃(11/25)

日野市秋の一斉清掃に、硬式野球部・男子籠球部・男子送球部・自転車競技部・吹奏楽団より、約 50 名の学生が参加しました。

学生たちは、急傾斜な場所の清掃や階段・側溝など、掃除しづらい場所を積極的に担当し、明星大学北門地域の方々と協力・歓談しながら、程久保地区の清掃を行いました。



◆「第 3 回日野市少年軟式野球教室」開催(12/1)

硬式野球部が、「第 3 回日野市少年軟式野球教室」を開催しました。明星大学構内の野球場に、日野市少年軟式野球連盟に所属する小学生約 140 名が参加して、部員と一緒に、アップやキャッチボール、バッティングやポジションごとの練習を行いました。部員にも子どもたちにも笑顔が溢れ、楽しい交流の場となりました。

教室を通じて小学生に、野球の魅力を伝えることができ、部員にとっても実りある時間となりました。



毎号、地域活動を積極的に行っているサークルを紹介する「Pick up」。今回は、日野市や八王子のイベントを始め、各方面で活躍中のダブルダッチ同好会「Shakin Key!!」と、明星大学初のボランティア音楽サークル Freedom music です。地域交流センターの勤労奨学生※がインタビューしました。

Pick up：体育会 ダブルダッチ同好会「Shakin Key!!」代表 小山 熙^{ひかる}さん（取材日 2018.12.5）
「子どもたちにダブルダッチの楽しさを伝えたい」



ダブルダッチとは、2本のロープを使うなわとびです。3人以上で行ない、2人のターナー(回し手)が、右手のロープと左手のロープを半周回して内側に回す中を、ジャンパー(跳び手)が色々な技を交えて跳ぶスポーツです。

—サークルについて教えてください。

今年で設立7年目です。サークル名の由来は、初代メンバーの頭文字を繋げたもので、自分たちの演技で見る人の心を『揺さぶる=shakin'』という意味が込められています。部員は現在約30名で、月・木・金で活動しています。去年の夏は全国大会出場、冬は9位までが世界大会へ行ける全国大会の大舞台で9位となり、舞浜で行われたダブルダッチの世界大会「DOUBLE DUTCH CONTEST WORLD 2018」に出場できました。Shakin key!!のメンバーのみで構成されたチームとしては、初の世界大会出場となり、部員たちのモチベーションも上がりました。

—地域では主にどんな活動をしていますか。

小学校・学童で体験教室や講習会などを行っています。教員になった卒業生からの依頼を受けて学校に行くことが多いです。また、お祭りでのパフォーマンスやイベントの余興、運動会やお祭りの準備・片付けのお手伝いといったボランティアも行っています。頻度は通常月1回程度ですが、12月は依頼が多いので、週1回は行っています。

—活動を通して感じていることは。

体験教室や講習会で子どもたちが楽しんでいる姿を見ると、教える側も楽しいし、元気を貰えます。気をつけていることは怪我をしないように注意をすること、そして何よ



「第52回日野市産業まつり」内イベント「ダンスフェスタ 2018 Street× Dreams」に出演。

り楽しんでもらうことです。ダブルダッチを楽しんで貰いつつ、広めていきたいです。

—今後の目標を教えてください。

先輩たちが大会の実績を出しているのでも、これからの代も続きたいです。また、先輩たちから受け継いできたボランティア・地域活動を発展させたいと思います。

今年度、大会の成績や地域貢献などの活動実績が認められて愛好会から、同好会になりました。今後は更に部に昇格できるよう頑張ります。

—読者の皆さんへのメッセージ

ダブルダッチはマイナーなスポーツと言われがちなので、もっと色んな人に知ってもらってきっかけになればと思います。同好会のメンバーのほとんどが大学でダブルダッチを知って始めた人ばかりです。初めての人でも出来るので大学で新しいことを始めたい人にはおすすめです！

インタビューを終えて：

勤労生として初めてのインタビューで、至らない部分もあったと思いますが、無事インタビューできてほっとしています。応えて下さったことに、臨機応変に対応できるようになっていきたいです。

ダブルダッチがより広まってほしいなと私も強く感じました。小山さん、お話しいただき、ありがとうございました。



※明星大学独自の勤労奨学金とは、学生に有効な経済支援を行うために、本学の理念である「体験教育」や「実践躬行」を具現化した、学内の実務体験を伴う返還義務のない給付型の制度です。奨学生には、大学内でのインターンシップを通じて、社会人としての意識や実務経験を学んでもらうことを目的としています。

Pick up : 愛好会 Freedom music 会長 中島憂也さん (取材日 2018.12.4) 「音楽の力でみんなを笑顔にしていきたい！」



ーサークルについて

メンバーは13名。毎週火曜日と毎月第2、第4水曜日の放課後に活動する音楽ボランティアサークルです。「音楽の力で幅広い世代の方々に勇気と元気を与え笑顔をいっぱいにする」ことを目標としています。音楽のジャンルは問わず、

演奏や合唱、ダンスなどを取り入れてパフォーマンスをします。特に管弦打楽器とコーラスとメインボーカルの構成はほかでは見ることが出来ない私たちの特徴の一つです。

ー地域では主にどんな活動をしていますか。

月に一度大学周辺の高齢者施設で演奏をするほか、たかたはもみじ灯路などの行事や、商業施設でのイベント等、市内外で活動の場を広げています。

昨年夏には、熊本復興支援ボランティアを企画しました。被災地での演奏会の他、仮設住宅でのミニコンサートやゲームなど、被災者と交流する寄り添いボランティアも行い、子どもたちの笑顔を見ることができました。



熊本復興支援ボランティアで演奏を聴いてくれた子どもたちとゲームなどで交流しました。

ー活動を通して感じていることは。

演奏を聞いてくださった方から生の感想をいただけることは、とてもエネルギーになり、更に上を目指すいい機会にもなります。音楽はそれだけで人の心を揺り動かす力がありますが、私たちの想いを届けていくには、しっかり練習を積み、演奏の完成度を高めることが重要だと思っています。また、より良い音楽や思いを届けるには人数も必要。だから今は部員を増やしたいです。理想は、50名くらいで演奏できるようになればと思っています！

また、ボランティア活動を通してたくさんの人と関わるにつれ、人の輪が広がっているのを実感します。大学祭で



星友祭の様子

子供向けに行った、シェーカーという楽器を作る企画が大好評で、現在、保育園等から演奏を含めたオファーをいただくなど、手応えを感じています。

ー今後の目標を教えてください。

音楽ボランティアをする団体はなかなかないので、もっと多くの人に知って貰うために、活動の機会を増やしていきたいです。

復興ボランティアも継続して行っていこうと思っていますが、実際に訪問してみると、今後は復旧作業などもやっていかなくてはならないなと感じています。

ー読者の皆さんへのメッセージ

音楽の力で多くの人を笑顔にするためにこれからもがんばっていきます！ 応援よろしくお願いします。



日野市と明星大学との合同研修会にて演奏を披露しました。

インタビューを終えて：

中島さんの話し方や表情から、サークルに対する想いがとても伝わりました。今後もより良い記事ができるように、インタビューの仕方を工夫していきたいと思います。

中島さん、お話いただき、ありがとうございました。





地域交流センター出展3年目のテーマは「多摩自慢」。包括協定を結んでいる日野市・八王子市・あきる野市を中心に、近隣の市について、地域交流センター所属の勤労生が実際に足を運んで取材し、発表しました。

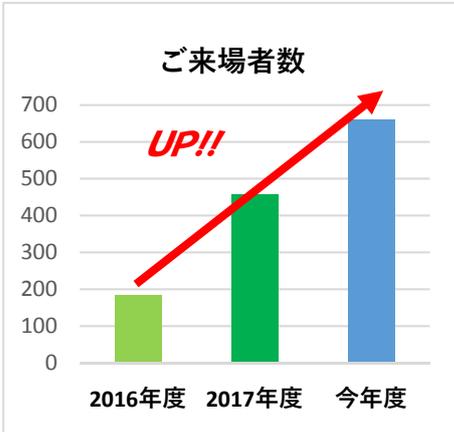
また、明星大学×日野市×UR都市機構の取り組みによる「高幡台団地シェアハウス」の様子や、包括協定3市での活動例なども紹介しました。

展示ブースには日野市より「薄桜鬼等身大パネル土方歳三」と「フレッシュちゃん(ひの新選組ポイントキャラクター)」が来場、会場を盛り上げてくれました。更に4日は「実践女子大『常磐祭』→明星大学『星友祭』→日野市『産業まつり』コラボスタンプラリー」を実施。スタンプ1つで地域交流センターノベルティ、スタンプ2つ以上で新選組グッズをプレゼントしました。

このようなご協力のおかげで、今年度もご来場者数はぐっとアップ、おかげさまで昨年を上回る大盛況となりました。

ご来場された皆様は展示を指しながら、「日野市に住んでいるけど、名産品は知らなかったな」「〇〇市出身なんだ、名物はね…」「この前この公園に行ったね」「今週末高尾山に行こうと思っていたから、参考になった」など、口々に楽しくお話をされていて、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。

展示とともに設置していた同3市の各種パンフレットも多数配布でき、知っているようで知らなかった多摩地域の情報や、これからの行楽シーズンにお出かけのヒントにさせていただくなど、様々に『多摩の自慢!』をアピールできたのではないのでしょうか。



フレッシュちゃん
(ひの新選組ポイントキャラクター)



フレッシュちゃんと撮影!



日野市コラボ
スタンプラリー



新ノベルティ
リフレクター(反射板)好評でした



薄桜鬼等身大パネル
土方歳三



気に入った展示にシール（1人4枚）で投票

「いいね！シール」結果発表！

回収率は90%。ほとんどの方がじっくり展示を見て下さいました。

男女とも一番票を集めたのは、「日野八王子農産物」。皆さん「食」に関心が高く、買える場所をしっかりとチェックされていました。また、秋川渓谷（あきる野市）を実地取材した散策記事も人気でした。

男女で傾向が分かれたものもありました。「高尾山」は女性に人気。ちょうど紅葉の季節とあり、来場者の方々はハイキングコースの他、グルメや由来を説明した展示に見入っていました。男性比率が高かったのは「TOYODA BEER」。どこで買えるのかというご質問も多く頂きました。



日野八王子農産物

男子学生の作った展示は男性が、女子学生の展示は女性の支持が多かったのも特徴です。男女の目線の違いが、興味を持つポイントに影響しているということがわかる、面白い結果となりました。

今年はコラボスタンプラリーのおかげで、お子さまもたくさん来られました。次回は、お子さまに楽しんでもらえる企画も増やしたいと考えています。

来年もどうぞご来場ください！



多摩・あきる野市紹介

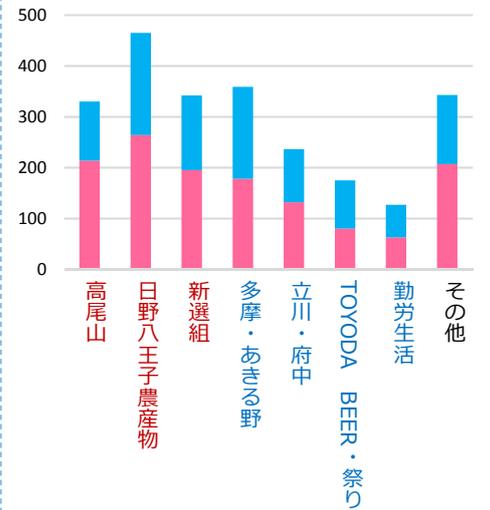


男性に人気「TOYODA BEER」



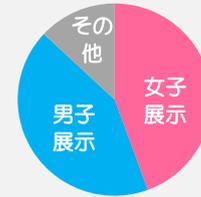
女性に人気「高尾山」

展示別いいねシール投票数 ■女性 ■男性



赤字：女子製作展示 青字：男子製作展示

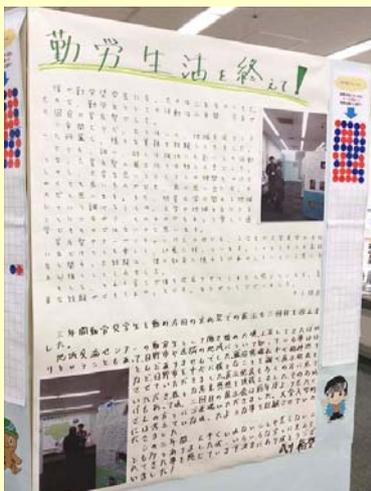
男性投票比率



女性投票比率



今回展示発表・会場設営してくれたのは、地域交流センターの勤労奨学生たちです。うち2名は今年度で卒業。長い間お疲れ様でした！ これからは社会人。仕事や暮らしの中で、当センターでの経験が活かされれば幸いです。元気でね！



4 お知らせ

◆八王子学園都市大学「いちょう塾」へ講座を提供(2019年度前期)

明星大学より提供する前期講座です。興味をお持ちの方は「いちょう塾」までお問い合わせください。18歳以上の方なら誰でも学ぶことができます。(学校教育法に定める大学ではありません)

担当講師	講座名	副題	開講日	回数
金子祥之	『徒然草』を考える 第三期	都市生活者の文学として『徒然草』を読む	4/17~	5
鈴木時男 渡辺知明	朗読でアタマとカラダを鍛えよう	文学作品の読み方・楽しみ方	4/11~	10
齋藤晴恵	はじめての絵本講座	シニアのための読み聞かせボランティア入門	5/10~	10
岡田恒雄	赤穂事件と『仮名手本忠臣蔵』	元禄時代の忠義の本質	4/10~	10
山本陽子	地獄と極楽	日本美術で地獄と極楽めぐり	7/6	1

◆高幡台団地シェアハウス報告

明星大学×日野市×UR都市機構の取組による「高幡台団地シェアハウス」もスタートして丸2年となりました。2018年度は大学を卒業し退去するメンバーがいます。団地住民として、率先してイベント等にも参加し、後輩を引っ張ってくれた4年生2名でした。シェアハウスの礎となる2年間の地域貢献活動、ありがとうございました。彼らの志は後輩へと引き継がれ、2019年4月からは「高幡台団地シェアハウス」も2期目の学生を迎え入れます。シェアハウスならではの生きた経験を糧に成長していってほしいと思います。大学では、学生の自主性を重んじつつ、今後も見守りとサポートを続けてまいります。



「防災のつどい」「団地夏まつり」「敬老の集い」等定期的に活動してくれました

◆明星大学図書館より

・明星大学貴重書コレクション展

『ウィリアム・モリス』－理想の書物を求めて－
 期間：2019年3月22日(金)～12月21日(土)
 19世紀イギリスの工芸家・詩人・小説家であるウィリアム・モリスにスポットを当て、彼が晩年に設立した私家版印刷工房ケルムスコット・プレスから刊行された書物を展示します。入場無料、予約は不要です。
 ※詳しくは、[本学図書館WEBサイトにてご確認ください。](#)

・図書館開放

2月1日(金)から3月30日(土)まで、近隣の高校生に図書館を無料開放しています。
 夏季は8月1日(木)から31日(土)を予定しております。学習の場としてご活用ください。



明星大学 高校生の皆様へ

明星大学図書館を利用しよう!

図書館も無料開放の皆さんに感謝します。夏休みなどの学校が休校している時期もご利用ください。

高校生開放期間 春期(2019年)

2月1日(金)～3月30日(土)

8:30～17:00

夏期 2019年7月1日(月)～8月31日(土)

8月1日(木)～8月31日(土)

明星大学図書館

〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1
 TEL: 042-591-5111 FAX: 042-591-9447
<http://www.meisei-u.ac.jp/library/>



発行：明星大学事務局 地域交流センター
 住所：191-8506
 東京都日野市程久保 2-1-1

電話：042-591-5111 (内 7160)
 042-591-9445 (直通)
 FAX：042-591-9447
 Email：gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp